

インドネシア水道に係る情報収集 No. 1801204-2J

| | | | | | |
|---|--------|-----|------------|-----|----------|
| 検索サイト | Google | 実施日 | 2018/12/04 | 実施者 | TADOKORO |
| 検索方法：「インドネシア の 水」で検索 | | | | | |
| URL: https://portal-worlds.com/news/indonesia/15730 | | | | | |
| <p>標題: 環境省はインドネシア等の水環境対策を支援</p> <p style="text-align: center;">2018年11月21日 ASEAN PORTAL アセアン情報サイト</p> | | | | | |
| <p>内容:</p> <p>日本の環境省は、「平成30年度アジア水環境改善モデル事業」にインドネシアとフィジーにおける事業を採択した事を発表した。</p> <p>8件の応募が行われていたが、有識者で構成された「アジア水環境ビジネス展開促進方策検討会」によるヒアリング審査を踏まえて、3件の事業が選定された。</p> <p>1つ目の事業：主提案者が「株式会社日水コン」、共同提案者が「三機工業株式会社」「国立大学法人長岡技術科学大学」、案件名が『インドネシア国チタルム川流域の繊維工場排水を対象とした排水処理技術（ABR+DHS）実証事業』。インドネシア国の排水基準等を満たし、かつ省エネルギー・低ランニングコスト型の排水処理技術の普及を目指す。</p> <p>2つ目の事業：主提案者が「株式会社日立製作所」、共同提案者が「オリジナル設計株式会社」「一般社団法人 海外水循環システム協議会」「福岡市道路下水道局」、案件名が『フィジー国における嫌気好気ろ床法(A2F法)を活用した低環境負荷型水処理・資源循環システム普及事業』。</p> <p>3つ目の事業：主提案者が「株式会社 LIXIL」、共同提案者が「三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社」、案件名が『ポータブルトイレシステムによるインドネシア国のスラム地区における衛生環境改善事業』となる。トイレを所有しないスラム地区の家屋に可搬式のし尿搬出タンクを備えた一体型トイレを設置し、し尿を地区外に搬出して処理するシステムを導入する。</p> | | | | | |
| 備考 環境省発表資料の別紙： https://www.env.go.jp/press/files/jp/110223.pdf 参照。 | | | | | |